



江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより
令和6年1月31日発行
通算第554号

まるむし帳

校長 笹川 カ

大きな災害で始まった令和6年。被災して亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、今なお避難生活をしている方々にお見舞いを申し上げたいと思います。

1月15日（月）に冬休み明け集会を行い、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。今年度も残すところ約2か月。学習のまとめをしっかりと行い、次の学年に進む準備をさせたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。また、学習だけでなく気持ちの面でも1つ上の学年に進むのだという意識をもたせたいと思います。



誰もが知っている長寿テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」。個性豊かな登場人物がたくさん出てきます。どの登場人物も愛すべきキャラに描かれていて作者の温かい眼差しが感じられます。個人的には永沢君の帽子をかぶった姿が大好きです。作者のさくらももこさんは、漫画だけでなく多くのエッセイも書かれています。小学生から読める内容となっていますが、大人が読んでも十分楽しめます。

さて、そんなさくらももこさんですが実は詩集も1冊だけ出しています。詩集の帯には「くるりと小さく丸まって、すぐにゴロリと転がるわたしはまるむしです。まるむしが丸まってにこにこ笑いながら書いたまるむし帳。ゆっくりみんなに届きますように…」とあります。しかし、本を開くと作者の鋭い感性に圧倒されます。抽象的な作品もありますが、自分が小さかった頃を思い出して「わかる、わかる」と共感できます。そんな詩集の中から、この2編を紹介します。他の作品と少し作風が違いますが、さくらももこさんらしいピュアで繊細な優しさが、よく表れていると思います。

たかし君

いじめられている

たかし君が

泣いている。

たかし君のシャツは

きいろくて

小さい小鳥のマークが

ししゅうしてある。

そでが よごれているよ。

たかし君の

おかあさんが

たかし君のために

着せてくれたシャツ。

けんか

学校で友達とケンカした。

たかし君を相手に

わたしはひとり。

握りこぶしの中の汗。

こみあげてくる涙が

のどで止まっている瞬間。

おとうさん

おかあさん

笑顔で帰ってくると

思っているね。

みんなと仲良くしていると

思っているね。